

(一面続き)

### 高齢者「差別」医療制度

Q 診療報酬体系は

この制度の大きな問題点の一つは、診療報酬に「包括・定額」制の導入が検討されていることである。一般の方と同じ治療をしても、75歳以上にならたら報酬が削られる、治療の回数が制限される。安価なマルメ報酬では、粗診療、萎縮診療を招きかねない。医師の裁量権は奪われ先生方は思うような治療が出来ない。

一方、患者さんの側から見れば、同じ病名でも一般の方と同じ診療が受けられない、必要な回数診療を受けられないなど差別される。患者さんにマルメの診療報酬など見えないので、怒りは医療機関に向けられかねない。医療機関と患者さんの信頼関係を壊し、判断を持ち込む制度である。

### フリーアクセスを阻害

Q これまで通り受診

マルメ報酬の問題と並んで、患者さんへの影響が最も懸念されるのは、フリーアクセスの阻害である。

厚労省は、高齢者があらかじめ登録した「かかりつけ医(在宅主治医、総合医なども提案されている)」をコーディネートし、他の医療機関や介護保険事業所からのサービスが高齢者に提供されるような地域ごとの医療連携体制を構想している。これは高齢者の医療機関選択の自由を制限することに他ならない。

### 参院選が最大のチャンス

Q こんな制度を誰が

つづけたのか

つづけたのは、自民・公明の与党だ。昨年6月の国会で、12本もの関連諸法案、440項目にも及ぶ政令などが私たちが多くの国民の反対を押し切って強行に成立させられた。今年4月から歯科診療所も含めたすべての医療機関に安全管理指針の策定や、都道府県にはインターネットを通じて外来患者数などを含む多数の医療機関情報の公開が義務付けられ、すでに実施されている。

来年4月の制度実施に向け、後期高齢者医療保険制度の保険者となる広域連合が各都道府県単位で立ち上がっている。しかし保険料の設定や独自の減免制度のあり方、資格証明書の発行基準などが話し合われるのは、今年の10月以降だ。

7月の参院選は国政における最大のチャンスである。参院選の争点として、制度を導入した自民・公明の与党に審判を下

### 信頼感与える接遇学ぶ

東西南地区

### 動作を映像で確認

協会の東西南地区は、接遇マナーインストラクターの西出知子氏を講師にスタッフ対象講習会

保険医会館で開いた。講習ではまず、身嗜み・挨拶・言葉遣い・態度など接遇マナーの基本、立ち姿、お辞儀、物の指し示しと授受、案内の仕方などの立ち居振る舞いについて解説された。中でも立ち居振る舞い、診療所の規模の大小に関わらず非常に大切だとされ、動作を交えながら相手に信頼感を与える動きについて学んだ。

後半の応用編では、4人1組・3人1組のグループに別れ、①電話応対②来院した患者や業者への応接・受け付け③診療室・院長への案内・取り

### 物件案内

歯科医院譲渡

【所在地】 阪急池田駅出口10分商業ビル3F 300戸のマンション現在入居開始

【条件等】 16坪。権利金180万円、家賃14・2万円。内装と設備・家具付(チェア、パノラマ、器具は移転の為にありません)、350万円。

【連絡先】 協会新聞部

### 映画「日本の青空」無料鑑賞券のご案内

協会が制作協力を支出した、映画「日本の青空(大澤豊監督作品)」の無料鑑賞チケットを、ご希望の先生方にお届けします。【上映日時】 6月24日(日) ①10時②13時③15時半 【会場】 エル大阪(地下鉄谷町線・京阪電鉄「天満橋」駅から徒歩3分) ※上記以降の上映日・会場につきましては、お申し込みの際に案内を同封いたします。【申し込み方法】 協会事務局までご連絡下さい。 Tel 06-6568-1773



実践的に接遇を学ぶ参加者 = 3日、保険医会館

このコーナーへの掲載は会員に限らせて頂きませぬ。協会は紹介のみとし、掲載内容の確認や条件などの交渉は当事者間でお願ひします。掲載をご希望される先生は、協会新聞部宛てにファクスしてください。 FAX 06-6568-10564

### 高濱悦子名誉理事が御逝去

協会の高濱悦子(たかはま えつこ)名誉理事が1日、心不全のため逝去された。95歳。故人は協会の創設に加

わり初代組織部長に就任し、71年から78年度まで部長を務められ、会員拡大など協会の基礎的力量の増大に尽力された。また、幹事(歯科保険医の会



時代の役職、現理事に相当)を2期、理事を9期務められ、97年から名誉理事に就任された。

### 高濱悦子先生を偲ぶ

### 明るく闊達な活動ぶりで協会の発展に貢献

玉川和隆 (協会名誉理事長)

大阪府歯科保険医協会名誉理事であり、高濱悦子先生のご逝去という現実を前にして、30数年間を同じくして大阪の歯科保険医の運動を共にしてきた一人として、故人を偲ばせていただきます。

私に先生に最初にお目にかかったのは1955年、堺の耳原病院で行われた民医連の歯科部会だったと記憶しています。その時、大阪の人とは一味違った歯切れの良い方であったことを記憶しています。

当時先生は吹田民主診療所の歯科部長として重責を担っていました。その後10年程たった1966年、大阪に自主的な組織、保険医協会をどうして作るかと梅田観光会館で7人の有志が集まった中に先生もいました。

人の大きな組織に成長することが出来た。先生は組織部長でしたが、明るく闊達な活動ぶりのため、その伝統は受け継がれ、今日では協会の会員数は全大阪府下の歯科保険医の70%、3700人になりました。

命を北京の病院勤務中に迎え、その大きな世界史の激動の中で実感したことを、誇りを持って語っていたことを昨日のように思い出します。

平和と民主主義、医療の民主化のための奮闘をたたえ、感謝の意を表します。永い間御苦労様でした。安らかにお休み下さい。

### 第22回 医療研究集会の参加者募集 テーマ「よかけん いくけん 医療研! ~癒しの医療と平和を求めて~」

●ただいま分科会・ポスターセッションの演題追加募集中です● 申し込み締め切り 6月30日

今回の開催地は福岡県です。「よかけん いくけん 医療研! ~癒しの医療と平和を求めて~」をメインテーマに、記念講演、共同調査結果報告、シンポジウムと3つの特別企画などを予定しています。また、日常診療の向上を目的として5つのテーマでの分科会やポスターセッションを設けております。主な開催要項は次の通りです。

日時 10月6日(土) 15時15分~20時30分  
10月7日(日) 9時~16時  
会場 福岡県・博多全日空ホテル  
申し込み ☎06-6568-7731まで

※なお、発表演題内容には実行委員会の審査があります。  
内容  
10月6日(土)  
●共同調査報告「医師および歯科医師の精神状況についての意識調査」  
●記念講演  
「がんばらない けどあきらめない」 諏訪中央病院名誉院長 鎌田 實氏  
「ミジンコの命~命は透けてみえてくる」 ミジンコ研究者・アルトサックス奏者 坂田 明氏

10月7日(日)  
●分科会等  
①在宅医療・介護/②内科診療の研究と工夫/③歯科診療の研究と工夫/④公害・環境・職業病/⑤医学史・医療運動史・医療と裁判/⑥ポスターセッション  
●シンポジウム  
①「医師の戦争責任を考える」  
②「仕事も家庭もあきらめない。これからの女性の生き方は?」  
③「笑いによる癒しの医療を求めて」  
主催 全国保険医団体連合会